

〔 麻酔科 〕

1．研修内容

手術室において、麻酔中の全身管理の知識及び実際に経験することでその手技を学ぶ。集中治療管理については集中治療室専従麻酔科医がいないため、内科については内科研修時、外科については外科研修時、麻酔科研修時には術後管理時に主治医と共に研修することとする。また、ペインクリニックについては外来見学を行う。

2．一般目標

麻酔中の全身管理を通して、緊急時救命処置に必要な最低限の知識と技術を習得する。

3．行動目標

- ・担当する症例の麻酔管理上の問題点を把握し対処法を準備することができる。
- ・麻酔記録を正しく記載し、理解することができる。
- ・麻酔器の構造を理解し、使用することができる。
- ・麻酔に使用する薬剤の知識を習得し正しく使用することができる。
- ・末梢静脈路の確保及び静脈、動脈穿刺が清潔に且つ確実にできる。
- ・フェイスマスクによる気道確保が出来、バック - マスクによる人工呼吸が実施できる。
- ・挿管困難患者を予め予測できる。
- ・気管内挿管が実施できる。
- ・脊椎麻酔法・硬膜外麻酔法について理解することができる。

4．研修目標

(1) 経験した方がよい主要疾患

研修内容チェック表参照。(経験すべき症状・病態・疾患及び経験が求められる疾患・病態)

(2) 研修すべき主な診断・検査法

研修内容チェック表参照。(臨床検査)

(3) 研修すべき手技・治療法

- ・全身麻酔法
- ・全身麻酔に用いる薬剤及び器機の使用法
- ・パルスオキシメーター、終末呼気炭酸ガスモニターを理解し、正しく使用

する。

- ・末梢静脈路の確保及び静脈、動脈穿刺
- ・ラリングルマスクの挿入
- ・経口気管内挿管
- ・胃管の挿入
- ・動脈血ガス分析とその評価
- ・各種循環作動薬の薬理的知識を学び適切に使用する
- ・局所麻酔に用いる薬剤、合併症及びその治療法
- ・ペインクリニックの基本的手技を理解する。

5 . 研修実績

研修期間中に全身麻酔を中心に 1 0 0 例以上。